

# 発掘速報展 2016

東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査の成果

平成28年7月20日(水)～9月19日(祝・月)

場所：九州歴史資料館第2展示室(無料)

福岡県の東九州自動車道関係の発掘調査は、平成13年度、雨窪遺跡(苅田北九州空港IC建設地)の発掘調査から始まります。

平成19年度以降、延永ヤヨミ園遺跡をはじめとする京都地域(苅田北九州空港IC～みやこ豊津IC)での発掘調査が活発になります。平成22年には、少し遅れて豊前地域(椎田南IC～大分県境)の調査が行われ、平成25年度に当館が行う発掘調査が終了しました。その後、順次整理報告作業を行い、平成27年度にすべての作業が終了しました。

発掘速報展は、東九州自動車道関係事業終了を記念として、その成果を公開するものです。

●は展示した遺跡 ○は調査した遺跡

京都地域

国土地理院発行5万分の1の地図を改変

●は展示した遺跡 ○は調査した遺跡

豊前地域

国土地理院発行5万分の1の地図を改変



### 「発掘速報展2016」調査報告会

- ・日時 平成28年8月27日(土)  
13:30~15:00
- ・場所 九州歴史資料館 2階研修室
- ・申込方法は当館ホームページをご覧ください  
(受講料無料)

URL:<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>



**九州歴史資料館**  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3

電話 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834

入館時間/9:30-16:30(入館は16:00まで)

休館日/月曜、ただし月曜が祝日の場合はその翌日が休館日

観覧料/無料(但し第1・3展示室は有料)

交通機関/西鉄三国が丘駅徒歩約12分、

JR 原田駅からタクシー約5分



## <展示遺跡の紹介>

きゅうせつき あまくほいせき みやこくんかんだまち  
**旧石器時代 雨窪遺跡**（京都郡苅田町雨窪）

流路内から、旧石器時代～縄文時代にかけての石器類が  
出土。古代「苅田駅」に関連する遺物（須恵器・土師器  
・蛸壺・製塩土器）などが出土。



延永ヤヨミ園遺跡出土 手焙り形土器

じょうもん りゅうまつみぞたいせき ゆくはしし  
**縄文時代 流末溝田遺跡**（行橋市流末）

縄文時代晩期の深鉢（鍋）の口縁部や肩部に装飾を  
施す「刻目突帯文土器」が多量に出土。



やよい やどみどうのまえいせき ゆくはしし  
**弥生時代 矢留堂ノ前遺跡**（行橋市矢留）

豊前最古級（弥生時代前期）の環濠集落を発見。環  
濠内の最下層からは京都平野で類例の少ない弥生時代  
前期初頭の土器が出土

こふん なら 江ど  
**古墳時代・奈良時代・江戸時代**

のぶなが や よ み そのいせき  
**延永ヤヨミ園遺跡**（行橋市延永）

古墳時代初め頃の豪族居館と目される長方形の区画、  
奈良時代前後の「草野津」に関連すると思われる大型建物  
跡なども発見された大規模な複合遺跡。

江戸時代では地下式土坑からは鉄製茶釜（芦屋釜）や  
双盤が出土

延永ヤヨミ園遺跡出土 導水施設木樋



きょうがつけいせき ありひさ  
**古墳時代 京ヶ辻遺跡**（京都郡みやこ町有久）

古墳時代中期（5世紀前半）頃の「オンドル状煙道」  
付き住居跡のある集落跡。谷部の井泉遺構からは初期  
須恵器が多く出土。初期須恵器製作者の集落跡か。

あざみ おおつかこふん  
**古墳時代 皆見大塚古墳**（京都郡みやこ町皆見）

古墳時代後期（6世紀後半）頃の京都平野初の彩色を  
施す装飾古墳。石室内の石材に赤色で◎・○・△、三角  
を意識した×字状文などを描く。遺物も豊富で、単鳳環  
頭大刀、装飾須恵器、馬具などが出土。

京ヶ辻遺跡出土 初期須恵器ハソウ



皆見大塚古墳出土 単鳳環頭大刀

おおにし にし へらいせき きゅうろつち  
**古墳時代 大西・西ノ原遺跡**（豊前市久路土）

弥生時代中期～後期に丘陵の幅100～120mの範囲を囲む  
環濠集落。弥生時代後期以降、環濠は埋められ、多くの弥生土器  
と古墳時代前期の素環頭大刀が出土。



皆見大塚古墳出土 装飾須恵器 猪

古墳時代 <sup>とうだびわだいせき</sup> 塔田琵琶田遺跡 <sup>きゅうろつち</sup> (豊前市久路土・塔田)

古墳時代前期(4世紀)頃の竪穴住居跡からは破鏡が出土。  
古墳時代後期(6世紀)頃の「オンドル状煙道」付のカマドをもつ住居を検出。朝鮮半島から渡来した人々の子孫が住んでいた集落跡か？



塔田琵琶田遺跡出土 破鏡

奈良時代 <sup>ふくばるちやうじゃばるいせき</sup> 福原長者原遺跡 (行橋市福原)

奈良時代前半(8世紀前半)頃の九州最大級の役所跡で、3時期の遺構の変遷を確認。なかでもⅡ・Ⅲ期の南門は八脚門という格式高い門であったことが判明。



馬場仁王免遺跡出土 山吹双鳥鏡

鎌倉時代 <sup>かまくら</sup> 馬場仁王免遺跡 <sup>まばにおうめんいせき</sup> (京都郡苅田町馬場)

古代官道推定ルートの上に遺跡が立地し、12世紀後半の土壇墓には、山吹双鳥鏡、鉄製刀子、土師器小皿が副葬されていた。

鎌倉時代 <sup>かまくら</sup> 八カノ本遺跡 <sup>もといせき</sup> (築上郡上毛町安雲)

奈良～鎌倉時代の神社跡と鎌倉時代の有力農民層の屋敷地を発見。その屋敷地を壊す有力者の居館跡の堀も検出。



ハカノ本遺跡出土 同安窯系青磁碗

室町時代 <sup>むろまち</sup> 宝山小出・宝山桑ノ本遺跡 <sup>たからやまこいで</sup> (行橋市宝山)

14～16世紀頃の区画溝とそれに伴う掘立柱建物跡、井戸や土坑などを検出。西側の独立丘陵上は宝山城跡と伝わっており、その城下町の一部か？

江戸時代 <sup>えど</sup> 緒方古墳群 <sup>おがたこふんぐん</sup> (築上郡上毛町緒方)

江戸時代後期に儒学者頼山陽や画家田能村竹田らと交流した岸井手永大庄屋曾木墨莊(安永元年1772～天保9年1838)の屋敷跡を調査。



緒方古墳群出土 磁器製急須



宝山桑ノ木遺跡出土 瓦質土器火鉢